2015年6月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	動物実験代替法についての各国の動向および最新研究
	学会名，発表年月及び場所	2015年日中化粧品国際交流協会年度交流イベント（2015.6）（東京）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	日本で開発または評価されたOECDテストガイドライン
	学会名，発表年月及び場所	生物化学的測定研究会　第20回学術集会（2015.6）（東京）
3	発表者名	細井一弘、小島　肇
	演題名	シンポジウム６　トランスレーションに有用な試験系構築の基本的考え方：ROSアッセイを例にして
	学会名，発表年月及び場所	第42回日本毒性学会学術年会（2015.6）（金沢）
4	発表者名	Hajime Kojima[*1], Nicole Kleinstreuer[*2], Michael Wilhelm Schaeffer[*3], Tae Sung Kim[*4], Wannhsin Chen[*5], Takashi Sozu[*6], Mika Watanabe[*7], Takeru Niitsma[*7], Kunihiko Yamashita[*8], Hiroshi Miyazaki[*8], Takayuki Fukuda[*9], Noriko Yamaguchi[*9], Sho Fujiwara[*9], Hiroyuki Yamaguchi[*10,11], Toshiaki Takezawa[*11]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1]National Institute of Health Sciences, [*2]ILS/NICEATM/ICCVAM, [*3] EURL ECVAM IHCP/JRC/European Commission, [*4]KOCVAM/MFDS, [*5]Taiwan Industrial Technology Research Institute, [*6]Kyoto University, [*7]Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center, [*8]Daicel Corporation, [*9]BoZo Research Center Inc., [*10]Kanto Chemical Co. Inc., [*11]National Institute of Agrobiological Sciences
	演題名	眼刺激性試験代替法Vitrigel-EITのバリデーション研究
	学会名，発表年月及び場所	第42回日本毒性学会学術年会（2015.6）（金沢）

5	発表者名	山口宏之*[1,2]，小島　肇，竹澤俊明*[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	*[1]農業生物資源研究所，*[2]関東化学株式会社
	演題名	高感度なin vitro眼刺激性試験法　Vitrigel-EITの予測性評価
	学会名，発表年月及び場所	第42回日本毒性学会学術年会（2015.6）（金沢）
6	発表者名	伊藤浩太*[1]，榊原隆史*[1]，越田　美*[1]，奥村宗平*[1]，中山拓生*[1]，平賀　武夫*[2]，小島　肇，松浦正男*[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	*[1](株)化合物安全性研究所，*[2]酪農学園大学　獣医学
	演題名	牛角膜を用いた混濁度度および透過性試験法（BCOP法）によるGHS分類２B物質の測定結果
	学会名，発表年月及び場所	第42回日本毒性学会学術年会（2015.6）（金沢）
国際学会		
1	発表者名	小島　肇，西川秋佳
	演題名	JaCVAM update（日本動物実験代替法評価センター）進捗
	学会名，発表年月及び場所	International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM) Coordination meeting （動物実験代替法国際協調会議）(2015.6)（韓国・済州島）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	JaCVAM activities update（日本動物実験代替法評価センター）活動報告
	学会名，発表年月及び場所	The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology　（第7回アジア毒性学会）　(2015.6)（韓国・済州島）
レギュラトリーサイエンス学会		
1	参加者名	小島　肇
	会議名	OECD,　the 7th Task Force on Hazard Assessment and the Extended Advisory Group on Molecular Screening and Toxicogenomicsg(経済協力開発機構第7回有害性評価機動部隊会議及び分子選別及びトキシコゲノミクス諮問委員会会議)
	開催場所，年月	フランス・パリ市，2015年6月16-18日
	会議内容（１５０字以内）	日本から提案した方法も含む種々の試験法に関するAOP（有害性作用機構）について、各国の研究者と意見交換及び情報収集した。

2	参加者名	小島　肇, 西川秋佳
	会議名	International Workshop on Validation Management for Alternative Test Methods (動物実験代替法のバリデーション管理に関する国際ワークショップ)
	開催場所, 年月	韓国・済州島、2015年6月23日
	会議内容（１５０字以内）	韓国動物実験代替法評価センター (KoCVAM)が韓国の代替法に関する動向を発表し、バリデーションの進め方について議論した.